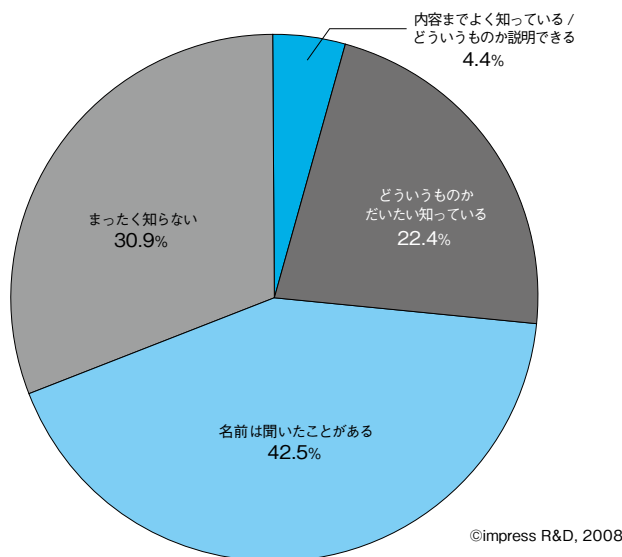


ネット規制

■ 青少年のためのネット規制法案を詳細に知っているのは4.4%

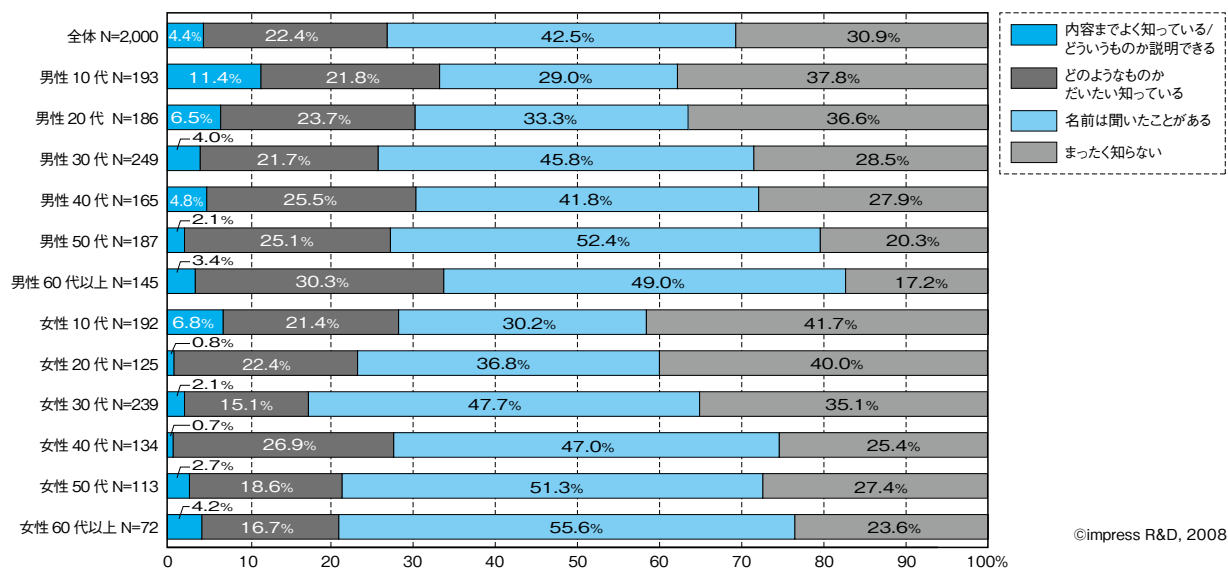
資料 6-5-9 青少年のためのネット規制法案の認知度 N=2,000



青少年がインターネット上の有害情報にアクセスできないようにする法案（現在検討中）に関して、「名前は聞いたことがある」まで含めた認知度は69.2%となり、7割のインターネットユーザーが認知している。ただし、内容までよく知っているのは4.4%のみであり、「どのようなものか知りたい知っている」も22.4%と、多くのインターネットユーザーにはまだ広がっていない。

■ 詳細まで理解している比率が最も高いのは当事者の男性10代

資料 6-5-10 青少年のためのネット規制法案の認知度[全体と性年代別]

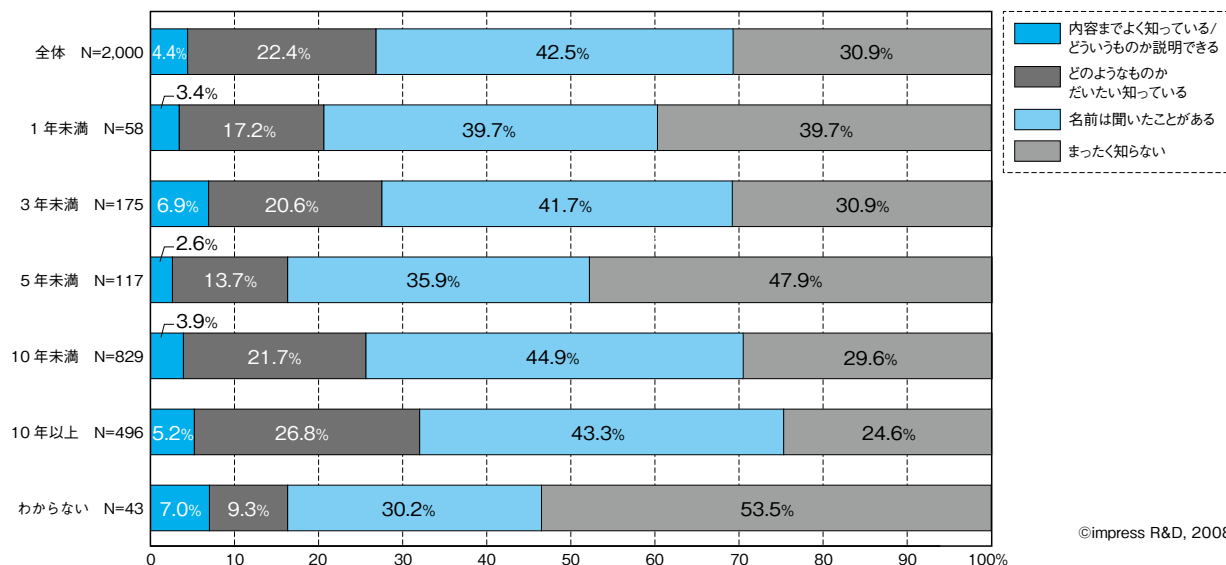


青少年のネット規制法案の認知度を性年代別にみると、女性より男性の認知度が高く、年代が高いほど認知度も高い傾向がみられる。しかし、「内容までよく知っている / どのようなものか説明できる」の比率は、規制される当事者である男性10代が11.4%と最も高い。

ネット規制

■ インターネット利用歴10年以上では認知度が75.4%

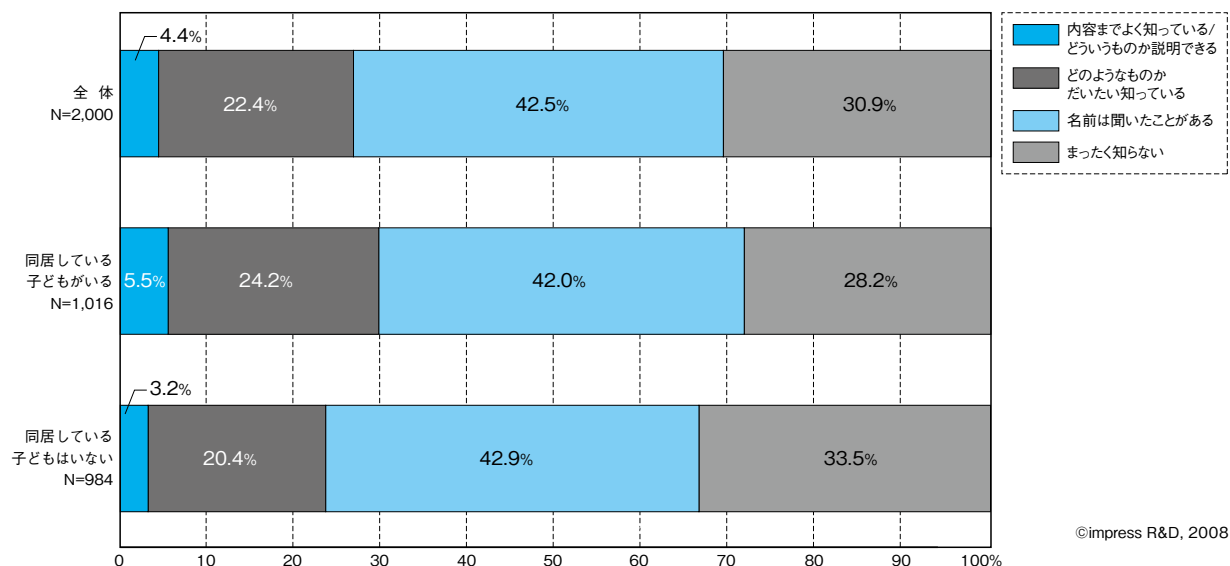
資料6-5-11 青少年のためのネット規制法案の認知度[インターネット利用歴別]



青少年のネット規制法案の認知度をインターネット利用歴別にみると、「5年未満」の認知度が低いですが、利用歴が長いほど認知度は高くなる傾向がややみられ、「10年以上」の認知度は75.4%で最も高い。

■ 子どもがいるほうが高い認知度や理解度

資料6-5-12 青少年のためのネット規制法案の認知度[子どもの有無別]



認知度を子どもの有無別にみると、同居する子どもがいるサンプルのほうが認知度や詳細まで理解している比率は高い。認知度は「同居している子どもはいない」の66.5%に対し、「同居している子どもがいる」は71.8%、だいたい理解している比率も子どもなしの23.6%に対し、子どもありでは29.7%である。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp